

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市上下水道局西館外壁外改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市古野上町 15 番 25 号に位置する福山市上下水道局敷地内です。

工事期間中はすべての施設が使用中です。

2 工事内容

福山市上下水道局西館の防水改修、塗装改修及び外壁改修を行います。

3 留意事項

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事期間中も施設は使用しているため、工事関係者はもとより、職員、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (3) 車車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (4) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (5) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (6) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (7) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (8) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (9) 実施工程表は、契約後 1 4 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (13) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (14) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (15) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。
また、仮囲い等については、設計図書等を基に確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設又は一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (2) 本工事場所の進入口及び通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (3) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議の上、決定してください。
また、隣接する保育所の通園時間帯は交通量が増えるため、工事用車両は注意して出入りしてください。
- (4) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。

福山市建築改修工事特記仕様書

1 工事概要

1 工事場所
広島県福山市古野上町15番25号

2 構造規模
福山市上下水道局西館：鉄筋コンクリート造 2階建（延べ面積 44.6㎡）

3 工事種目
（1）西館
外壁外改修工事
（2）
（3）
（4）
（5）
4 工事範囲
※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち の全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち (1)、(2)、(3)、(4) の工事範囲は次表のとおりとする。
ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 建築改修工事仕様

1 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
○ 建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
○ 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
2 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（／）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（／）図による。
3 特記仕様書の適用は次による。
（1）項目は、○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の〔 〕 内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3 福山市建築改修工事仕様

本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。
本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1 官公署の手続き

受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。（官公署手続きは監督職員の承諾後とする。）

2 施工中の安全確保

本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。
交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。

3 監理（主任）技術者

現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

4 別契約の関連工事との調整等

・ 施工範囲は「工事区分表」による。
・ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
・ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5 施工管理

※ 施工体制台帳の写しを提出する。

6 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

7 保証書

次の工事について保証書を提出する。

工事区分	材料名	保証年限	備 考
・ 防水工事	・ ルーフィングシート防水	10 年	
	・ 塗膜防水	10 年	
・ 外壁改修工事	・ 外壁複合改修工法	10 年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
	・	年	
	・	年	

8 引渡し後点検

引渡し後、次の点検を行う。（○印の付いたものを適用する。）
・ 引渡し後点検（第1次点検） 引渡し後の概ね1年後
・ 引渡し後点検（第2次点検） 引渡し後の概ね2年後

4 発生材の処理等

処理等
・ 発注者に引渡しを要するもの
・ 現場説明書による
・ 特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法
・ 現場説明書による
○ 工事現場において再利用及び資源還元を図るもの
○ 現場説明書による
・ ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理
（ ・ 製造業者へ処分委託 ・ 管理型最終処分場で処理）
・ 石綿含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理
（ ・ 管理型最終処分場で処理 ・ 再資源化）
・ POB含有シーリング材の分析調査（ ・ 行う ・ ）
・ POB含有シーリング材の撤去（ ・ 行う ・ ）
・ 特別管理産業廃棄物の分析調査（ ・ 行う ・ ）
※ 建設副産物情報交換システム（C O B R I S）（財）日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議する。

	施 工 計 画 時	工 事 完 了 時
搬 入	再 生 資 源 利 用 計 画 書	再 生 資 源 利 用 実 施 書
搬 出	再 生 資 源 利 用 促 進 計 画 書	再 生 資 源 利 用 促 進 実 施 書

※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。
なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。

・ 石綿含有建材の調査

調査
※ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
調査範囲
・ 図示による
資与資料
・ 分析による石綿含有建材の調査
・ 分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロソライト、トレモライト
資料採取箇所
・ 「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の1.7.11による
・ 図示による

○ 施工数量調査

各章の特記による。

5 技能士

適用
適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。 [1.7.2]

適用工事種類	職 種	技能検定の作業の種別
仮設工事	とび	○ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
コンクリートブ ロ ック・ALC パネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業
	エーエルシーパネル施工	・ エーエルシーパネル工事作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
コンクリートブ ロ ック・ALC パネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業
	エーエルシーパネル施工	・ エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工	・ 鋼製下地工事作業
左官工事	建築板金	・ 内外装板金作業
	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーベット系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業
内装工事	内装仕上げ施工	・ 壁装作業 ・ 建築配管作業
排水工事	配管	・ 溶融ペイントハンドマーカー工事作業
舗装工事	路面標示施工	・ 加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・ 造園工事作業

○ 技術検査

濃度測定の実施 [1.7.10]
・ 適用する
測定時期
測定対象化学物質
・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチレベンゼン、ステレン
測定方法
・ パッシブ型採取機器による
測定対象室及び測定箇所
・ 現場説明書による

○ 技術検査

中間技術検査 [1.8.2]
・ 実施回数（ ）回
・ 実施する段階（ ）
※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知
提出図書
※ 改修標準仕様書1.9.2及び1.9.3による
・

○ 完成図

種類、記入内容等 [1.9.2][表1.9.1]
※ 改修標準仕様書 表1.9.1による
提出部数（ 1 ）部
提出仕様（ ・ 紙ベース ○ 電子データ ・ ）
※ 竣工図
速やかに次の図書を提出する
（ ※ 完成図 ・ 施工図 ）
○A3判を2つ折りにして製本 1 部
・
※電子データ提出 一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。）
○C A Dデータ（媒体（C D－R等）、データ形式等は監督職員の指示による。）

○ 保全に関する資料

作成等 [1.9.3]
提出部数（ 1 ）部
提出仕様（ ○ 紙ベース ・ 電子データ ・ ）

○ 完成写真

工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。
撮影箇所（ 外景4面 各室4面 ）
撮影仕様（ 形 式： ※ 電子データ JPEG フルカラー ・
画質等： ○ 外景 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの
○ 各室 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質 ・
提出仕様（ ○ 電子データ ・ アルバム（A4判程度） 1部 ○ 写真帳 1部 ）
検査後14日以内に提出する。
電子データ形式等は、監督職員の指示による。

6 仮設工事

○ 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]
○ 足場等 [2.2.1][表2.2.1]
外部足場
○ 設置する（設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ・ ）
・ 設置しない
防護シート
○ 設置する（設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・ ）
・ 設置しない
内部足場
・ 設置する（※ 脚立、足場板等 ・ ）
○ 設置しない
・ 材料、搬去材等の運搬方法
種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ E種 ）
C種：利用可能なエレベーター（ ）
D種：利用可能な階段（ ）
○ 既存部分の養生 [2.3.1]
養生方法等
○ 既存部分
養生方法（ ※ ビニルシート、合板 ・ ）
○ 既存家具、既存設備等
養生方法（ ※ ビニルシート等 ・ ）
・ 既存ブラインド、カーテン等
養生方法（ ・ ビニルシート等 ・ ）
保管場所（ ・ 図示による ・ ）
・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動
・ 図示による
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
・ 仮設間仕切り [2.3.2][表2.3.1]
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
・ 図示による
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・ A種	・ せっこうボード 種類（ ・ ） 厚さ（ ※ 9.5mm ・ mm ）	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm
・ B種	・ 合板 材種（ ・ ） 厚さ（ ※ 9mm ・ mm ）	・	
・ C種	・	・	
	・ 防火シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※ 木製	※ 合板張り程度	・ なし	・ 場所
・	・	・ 片面	・ 図示による

7 監督職員事務所等

監督職員事務所等 [2.4.1]
建物
・ 設置する ○ 設置しない
規模、仕上げの程度
・ 現場説明書による
設備
※ 監督職員との協議による
・ 現場説明書による
備品等の種類及び数量
・ 現場説明書による

8 工事用水

構内既存の施設
・ 利用できない ○ 利用できる（ ○ 有償 ・ 無償 ）

9 工事用電力

構内既存の施設
○ 利用できない ・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償 ）

9 工事名称

福山市上下水道局西館外壁外改修工事

10 図面名称

外壁改修工事特記仕様書 No-1

福山市上下水道局

設計： 2026年6月

11 図面No

1

13

③

防水改修工事

特記事項

[1.6.2][1.6.3]

調査範囲

・ 図示による
調査方法
・ 図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による
調査報告書（提出部数：2部）

降雨等に対する養生方法（とい共

※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による

改修工法の種類及び工程

防水改修工法
○ 図示による

既存防水層の処理

既存保護層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ）
○ 行わない
立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去
○ 行う（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
・ 行わない（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
屋内防水
・ 保護層を新設（ 範囲 ・ 図示による ）

既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・ 図示による

POS工法及びPPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置

※ 改修標準仕様書3.2.6（4）（ウ）（g）①～③による

設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

※ 監督職員と協議する
・ 図示による

アスファルト防水

新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種類 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1			※ 8'リフレフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ A-2			
	・ A-3			
・ PIB	・ B-1			・
	・ B-2			
・ P2AI	・ AI-1	(種類) ※ JIS A 9521に基づく押出法8'リフレフィルム断熱材3種bA（ｽﾎﾟﾝﾌｧｰｸ付き） (厚さ)(mm)		※ フラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ AI-2			
	・ AI-3			
・ PIB I	・ BI-1	(厚さ)(mm)		・
	・ BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製L=30×15×2.0mm程度
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
コンクリートの仕上りの平たんさの種類（ 種）
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
立上り部の保護方法
・ 乾式保護材（乾式保護材の材料 ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内等）
・ れんが押え（ ・ 図示による ）
れんがの材料（※JIS R 1250 ）
新設防水層（屋根露出工法）の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・ M4C	・ C-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	・ 適用する	
	・ C-2						
	・ C-3						
	・ C-4						
・ M3D	・ D-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない	
	・ D-2						
・ POD	・ DI-1	改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ)(mm)		・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない	
	・ M3DI						
	・ DI-2						
	・ M4DI						

改質アスファルトシート防水

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
絶縁断熱工法のルーフトレン回りとび立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ 図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
(個)
屋内防水
防水層の種類

工法	種別	施工箇所
・ PIE	・ E-1	
・ P2E	・ E-2	

保護層
・ 設ける（ ※ 図示による ）
・ 設けない
E-1の行程3を行う部位
※ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位
屋上排水溝
※ 図示による

改質アスファルトシート防水

新設防水層の種類 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水	備考	
・ AS-T1				・ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	※ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	・ 適用する	
							・ AS-T2
							・ AS-J2
・ M4AS				・ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	※ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	・ 適用する	
							・ AS-T3
							・ AS-T4
・ M3AS				・ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	※ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	・ 適用する	
							・ AS-J1
							・ AS-T3
・ POAS				・ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	※ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	・ 適用する	
							・ AS-T4
							・ AS-J1
・ AS-J3				・ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	※ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない	
							・ AS-T3
・ ASI-T1				改修標準仕様書3.4.2(3)(ウ)(種類)	・ 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様	・ 適用する	
							・ ASI-T1
							・ ASI-J1
・ M3ASI				(厚さ)(mm)	・	・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない	
							・ M4ASI
・ POASI							

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
・ アルミニウム製 L=30×15×2.0(mm)程度
屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ
種類（ ）
厚さ（ ）
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
(個)
絶縁断熱工法の防湿用シート
・ 設置する
・ 設置しない

合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種類 [3.2.5][3.5.2～3.5.4]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水	備考	
・ POS	・ S-F1			・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	脱気装置 ○ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ○ 設ける ・ 設けない	
							・ S-F2
							・ S-M1
・ S4S	○ S-F2	屋上立上		・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・ 適用する	
							・ S-M1
							○ S-M2
・ S3S	・ S-F1	ﾌﾟﾚｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
							・ S-F2
							・ S-M2
・ M4S	・ S-M1			・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
							・ S-M2
・ POSI	・ SI-F1	ﾌﾟﾚｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地	改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(種類)	・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない	
							・ SI-F2
	・ S4SI	・ SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(種類)	・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ M4SI	・ SI-F1	ﾌﾟﾚｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地	改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(厚さ)(mm)	・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
							・ SI-F2
・ S4SI	・ SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(厚さ)(mm)	・ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ ﾎｰﾌｲﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
							・ SI-M2

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※ 非歩行仕様
・ 軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・ 設置する
・ 設置しない
屋内防水
防水層の種類

種別	施工箇所	保護層	
		平場のモルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・ S-C1		・	※ 7mm以下 ・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類
・
厚さ
・ mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※ 発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質及び寸法形状
※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ (個)
設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ (個)
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・ 行う（ ・ 図示による ）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・ 行う（ ・ 図示による ）
・ 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による

塗膜防水

新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・ PDX	※ X-1		・ 主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない
	・ X-2				
	・ X-1H				
	・ X-2H				
○ L4X	・ X-1	屋上	○ 主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ○ 設けない
	※ X-2				
	・ X-1H				
	・ X-2H				

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様
・ (個)

特記事項

[3.1.4][3.2.6]

防水改修工事

調査範囲
・ 図示による
調査方法
・ 図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による
調査報告書（提出部数：2部）
降雨等に対する養生方法（とい共
※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による
改修工法の種類及び工程
防水改修工法
○ 図示による
既存防水層の処理
既存保護層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ）
○ 行わない
立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去
○ 行う（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
・ 行わない（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
屋内防水
・ 保護層を新設（ 範囲 ・ 図示による ）
既存下地の処理
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・ 図示による
POS工法及びPPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※ 改修標準仕様書3.2.6（4）（ウ）（g）①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 監督職員と協議する
・ 図示による
アスファルト防水
新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種類 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1			※ 8'リフレフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ A-2			
	・ A-3			
・ PIB	・ B-1			・
	・ B-2			
・ P2AI	・ AI-1	(種類) ※ JIS A 9521に基づく押出法8'リフレフィルム断熱材3種bA（ｽﾎﾟﾝﾌｧｰｸ付き） (厚さ)(mm)		※ フラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ AI-2			
	・ AI-3			
・ PIB I	・ BI-1	(厚さ)(mm)		・
	・ BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製L=30×15×2.0mm程度
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
コンクリートの仕上りの平たんさの種類（ 種）
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
立上り部の保護方法
・ 乾式保護材（乾式保護材の材料 ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内等）
・ れんが押え（ ・ 図示による ）
れんがの材料（※JIS R 1250 ）
新設防水層（屋根露出工法）の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・ M4C	・ C-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	・ 適用する
	・ C-2					
	・ C-3					
	・ C-4					
・ M3D	・ D-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない
	・ D-2					
・ POD	・ DI-1	改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ)(mm)		・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない
	・ M3DI					
	・ DI-2					
	・ M4DI					

防水改修工事

調査範囲
・ 図示による
調査方法
・ 図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による
調査報告書（提出部数：2部）
降雨等に対する養生方法（とい共
※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による
改修工法の種類及び工程
防水改修工法
○ 図示による
既存防水層の処理
既存保護層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ）
○ 行わない
立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去
○ 行う（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
・ 行わない（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
屋内防水
・ 保護層を新設（ 範囲 ・ 図示による ）
既存下地の処理
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・ 図示による
POS工法及びPPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※ 改修標準仕様書3.2.6（4）（ウ）（g）①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 監督職員と協議する
・ 図示による
アスファルト防水
新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種類 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1			※ 8'リフレフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ A-2			
	・ A-3			
・ PIB	・ B-1			・
	・ B-2			
・ P2AI	・ AI-1	(種類) ※ JIS A 9521に基づく押出法8'リフレフィルム断熱材3種bA（ｽﾎﾟﾝﾌｧｰｸ付き） (厚さ)(mm)		※ フラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ AI-2			
	・ AI-3			
・ PIB I	・ BI-1	(厚さ)(mm)		・
	・ BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製L=30×15×2.0mm程度
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
コンクリートの仕上りの平たんさの種類（ 種）
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
立上り部の保護方法
・ 乾式保護材（乾式保護材の材料 ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内等）
・ れんが押え（ ・ 図示による ）
れんがの材料（※JIS R 1250 ）
新設防水層（屋根露出工法）の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・ M4C	・ C-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	・ 適用する
	・ C-2					
	・ C-3					
	・ C-4					
・ M3D	・ D-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない
	・ D-2					
・ POD	・ DI-1	改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ)(mm)		・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない
	・ M3DI					
	・ DI-2					
	・ M4DI					

防水改修工事

調査範囲
・ 図示による
調査方法
・ 図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による
調査報告書（提出部数：2部）
降雨等に対する養生方法（とい共
※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による
改修工法の種類及び工程
防水改修工法
○ 図示による
既存防水層の処理
既存保護層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ）
○ 行わない
立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去
○ 行う（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
・ 行わない（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
屋内防水
・ 保護層を新設（ 範囲 ・ 図示による ）
既存下地の処理
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・ 図示による
POS工法及びPPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※ 改修標準仕様書3.2.6（4）（ウ）（g）①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 監督職員と協議する
・ 図示による
アスファルト防水
新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種類 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1			※ 8'リフレフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ A-2			
	・ A-3			
・ PIB	・ B-1			・
	・ B-2			
・ P2AI	・ AI-1	(種類) ※ JIS A 9521に基づく押出法8'リフレフィルム断熱材3種bA（ｽﾎﾟﾝﾌｧｰｸ付き） (厚さ)(mm)		※ フラットテックDS 70g/m ² 程度
	・ AI-2			
	・ AI-3			
・ PIB I	・ BI-1	(厚さ)(mm)		・
	・ BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ（ ）mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製L=30×15×2.0mm程度
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
コンクリートの仕上りの平たんさの種類（ 種）
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
立上り部の保護方法
・ 乾式保護材（乾式保護材の材料 ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内等）
・ れんが押え（ ・ 図示による ）
れんがの材料（※JIS R 1250 ）
新設防水層（屋根露出工法）の種類

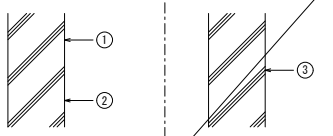
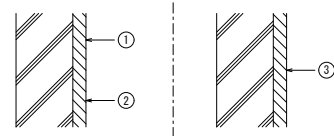
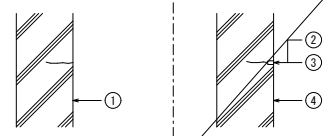
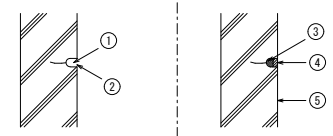
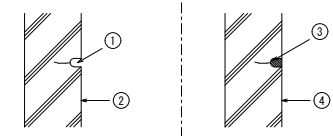
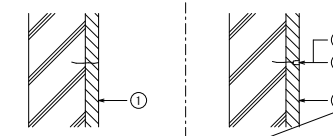
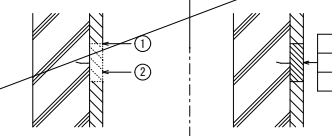
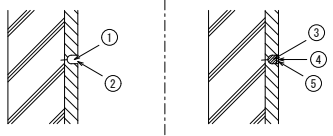
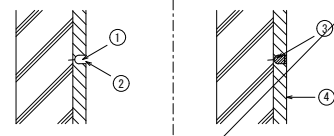
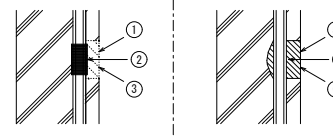
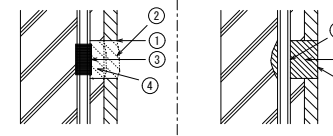
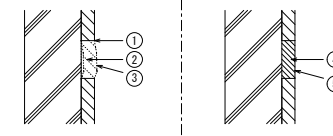
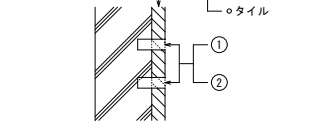
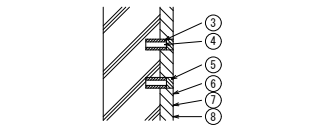
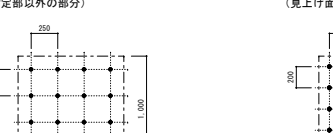
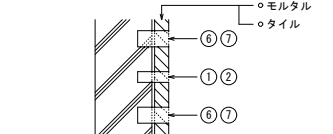
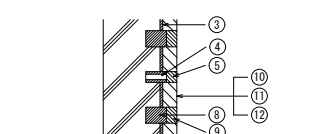
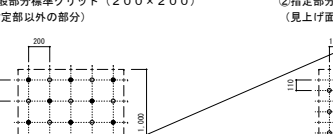
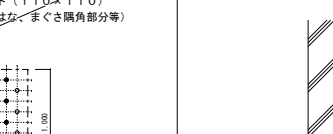
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・ M4C	・ C-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	・ 適用する
	・ C-2					
	・ C-3					
	・ C-4					
・ M3D	・ D-1			・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない
	・ D-2					
・ POD	・ DI-1	改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ)(mm)		・ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	※ アスファルトルーフィング'類の製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・ 設ける ・ 設けない
	・ M3DI					
	・ DI-2					
	・ M4DI					

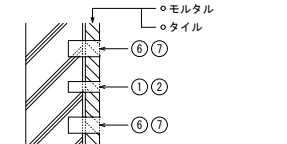
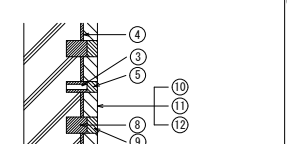
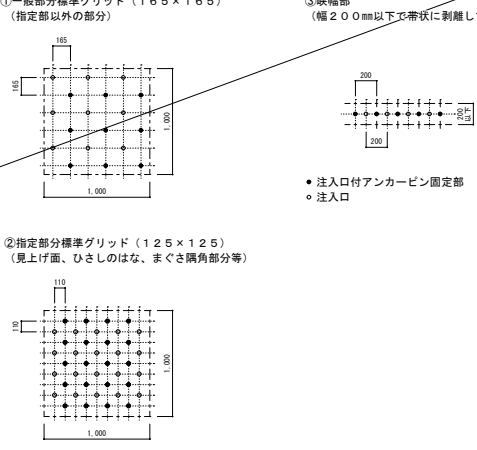
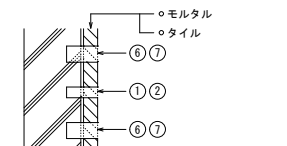
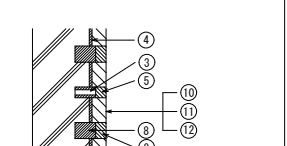
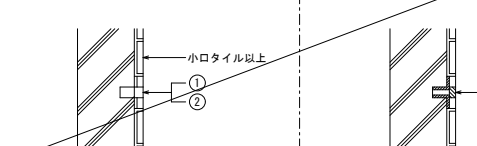
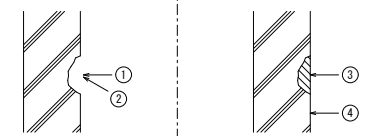
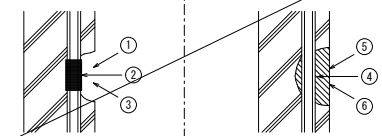
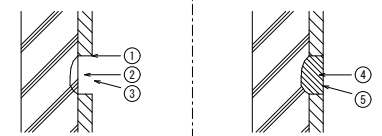
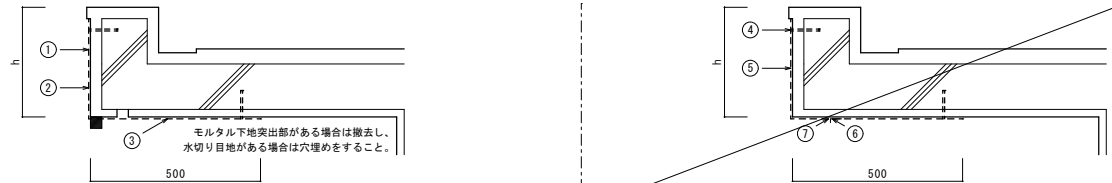
防水改修工事

調査範囲
・ 図示による
調査方法
・ 図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・ 図示による
調査報告書（提出部数：2部）
降雨等に対する養生方法（とい共
※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による
改修工法の種類及び工程
防水改修工法
○ 図示による
既存防水層の処理
既存保護層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う（範囲・ 図示による ）
○ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ）
○ 行わない
立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去
○ 行う（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
・ 行わない（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ MAS ・ MASI ・ S4S ・ S4SI ）
屋内防水
・ 保護層を新設（ 範囲 ・ 図示による ）
既存下地の処理
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
・ 図示による
POS工法及びPPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※ 改修標準仕様書3.2.6（4）（ウ）（g）①～③による
設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※ 監督職員と協議する
・ 図示による
アスファルト防水
新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種類 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1			

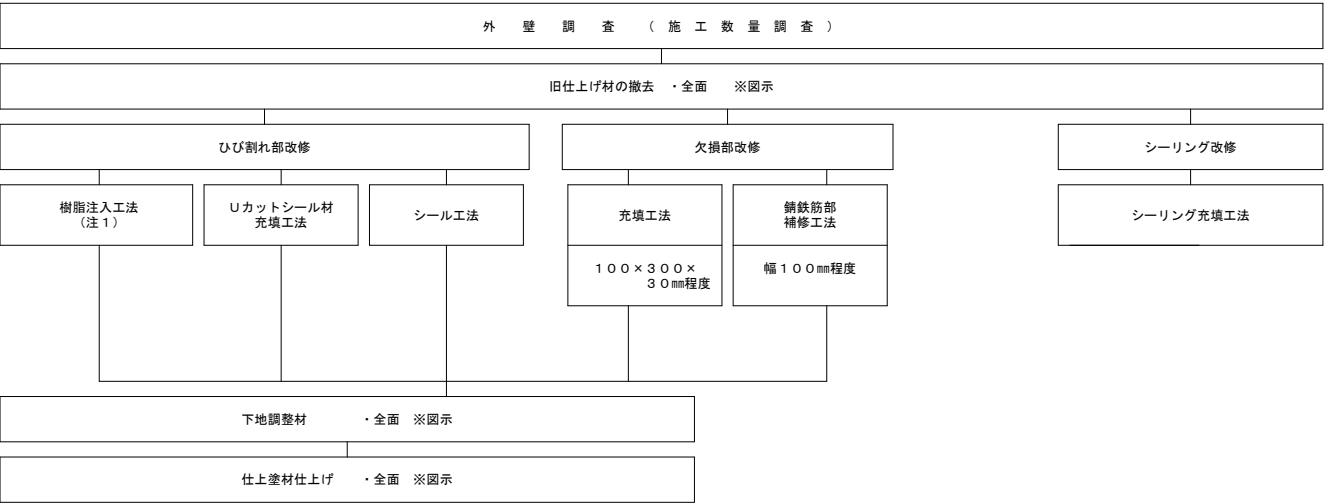
[illegible]

名 称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理				D 浮き部処理															
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理【サンダー工法】				A-2 モルタル面表面劣化部処理【サンダー工法】				B-1 打放し面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm				B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超				B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm				B-4 モルタル面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm				B-5 モルタル面躯体樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm			
改修前	改修後																												
		①既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ＊部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ＊部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①サンダーケレン ②水洗い（15Mpa程度） ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）			
工 程		設計数量： 0.0 m ²				設計数量： 13.4 m ²				※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 設計数量： ひび割れ幅 0.2～0.5mm (0.0) m ひび割れ幅 0.5～1.0mm (0.0) m () 内は歩動ひび割れ数量を示す				※A-1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-1工法に含む。 設計数量： 17.6m				※A-1工法を行う場合は、②、④の工程はA-1工法に含む。 設計数量： 0.0 m				※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 設計数量： ひび割れ幅 0.2～0.5mm (0.0) m ひび割れ幅 0.5～1.0mm (0.0) m () 内は歩動ひび割れ数量を示す				※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 設計数量： 0.0 m			
名 称		B ひび割れ部処理				C 錆鉄筋部処理				D 浮き部処理																			
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超				B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm				C-1 打放し面錆鉄筋部処理				C-2 モルタル面錆鉄筋部処理				D-1 モルタル面はつり											
改修前	改修後																												
		①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③水洗い（15Mpa程度） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④水洗い（15Mpa程度） ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				①カッター縁切り ②浮き部はつり ③水洗い（15Mpa程度） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）											
工 程		※A-2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA-2工法に含む。 設計数量： 146.0m				※A-2工法を行う場合は、②、④の工程はA-2工法に含む。 設計数量： 0.0 m				※A-2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA-2工法に含む。 設計数量： 22.4 m				※A-2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA-2工法に含む。 設計数量： 10.6m				※A-2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA-2工法に含む。 設計数量： 4.3 m ²											
名 称		D 浮き部処理																											
記号・仕様		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法				[4.3.11] [4.4.9]				D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法				[4.3.12] [4.4.10]															
改修前	改修後																												
		①穿孔 一般部 152 ケ所 指定部 49 ケ所 ②孔内エアーク掃 一般部 152 ケ所 指定部 49 ケ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 152 ケ所 指定部 49 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 152 ケ所 指定部 49 ケ所 設計数量：①一般部分：【タイル面】 49.6 m ² 【タイル面】 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 27.6 m				⑤穿孔跡埋戻し【エポキシバテ】 一般部 152 ケ所 指定部 49 ケ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い（15Mpa程度） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2' 工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。 設計数量：①一般部分：【タイル面】 49.6 m ² 【タイル面】 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 27.6 m				①一般部分標準グリッド（250×250） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（200×200） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③峽幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ④アンカーピン固定部				①穿孔 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ②孔内エアーク掃 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し【タイルバテ】 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑦孔内エアーク掃 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し【タイルバテ】 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15Mpa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※D-3' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 0.0 m				①一般部分標準グリッド（200×200） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（150×150） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③峽幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ④アンカーピン固定部 ⑤注入口											
名 称		D 浮き部処理																											
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法				[4.3.13] [4.4.11]				D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法				[4.3.14] [4.4.12]															
改修前	改修後																												
		①ピン固定部穿孔 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ②孔内エアーク掃 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ③ポリマーセメントスラリー注入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ④ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し【タイルバテ】 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑦孔内エアーク掃 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑨穿孔跡埋戻し【エポキシバテ】 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15Mpa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※D-4' 工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 0.0 m				①一般部分標準グリッド（200×200） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（150×150） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③峽幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ④アンカーピン固定部 ⑤注入口				①穿孔 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ②孔内エアーク掃 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑤穿孔跡埋戻し【エポキシバテ】 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑥注入口穿孔 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑦孔内エアーク掃 一般部 0 ケ所 指定部 0 ケ所 ⑧サンダーケレン ⑨水洗い（15Mpa程度） ⑩セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5' 工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。 設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 0.0 m				①一般部分標準グリッド（300×300） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（250×250） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③峽幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ④注入口付アンカーピン固定部															
工 程		設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 0.0 m				設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 0.0 m				設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 0.0 m				設計数量：①一般部分： 0.0 m ² ②指定部分： 0.0 m ² ③峽幅部： 0.0 m															
名 称		外壁改修工事特記仕様書 No-5				福山市上下水道局				福山市上下水道局外壁外改修工事																			
図面名称		外壁改修工事特記仕様書 No-5				福山市上下水道局				福山市上下水道局外壁外改修工事																			
設計		2026年6月				2026年6月				2026年6月																			
図面No		A1=100% A2= 71% A3= 50%				A1=100% A2= 71% A3= 50%				A1=100% A2= 71% A3= 50%																			
5		5				5				5																			

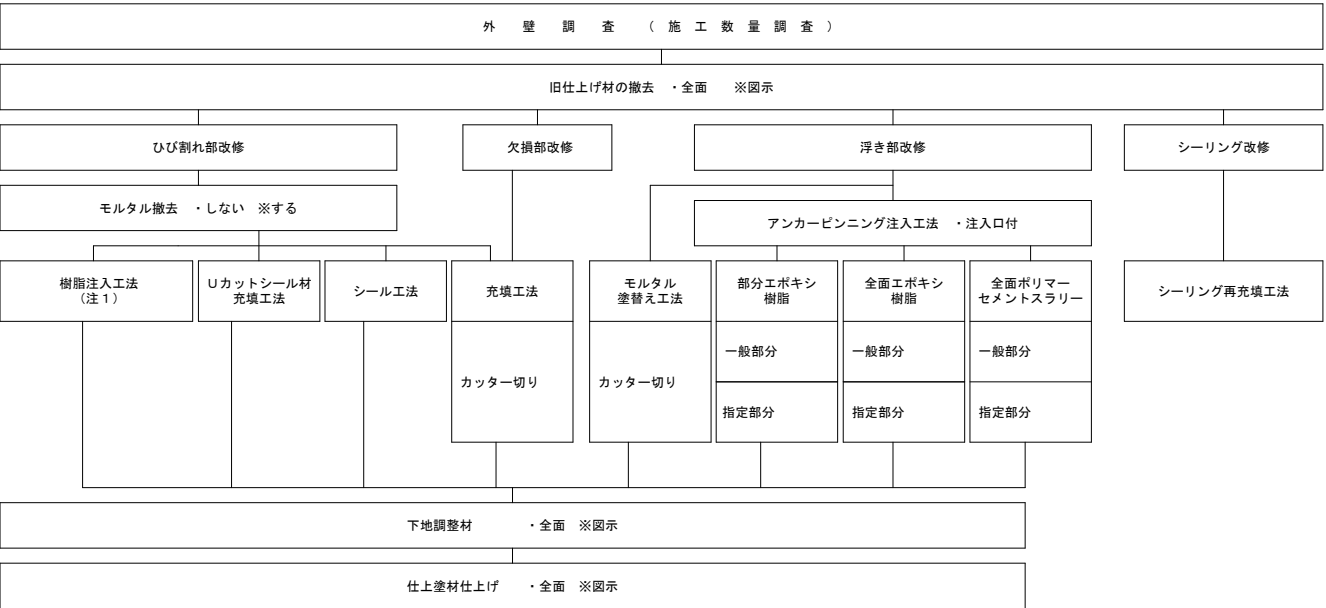
名 称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法		[4. 3. 15]													
		D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法		[4. 4. 13]													
改修前	改修後																
		①ピン固定部穿孔 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ③ステンレスピン（注入口）挿入 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑪水洗い（15MPa程度） 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ※D-6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分： 0.0㎡ ②指定部分： 0.0㎡ ③破損部： 0.0㎡															
名 称		D 浮き部処理															
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法		[4. 3. 16]		D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法（小口タイル以上）											
		D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法		[4. 4. 14]		[4. 4. 15]											
		※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ															
改修前	改修後																
		①ピン固定部穿孔 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ③ステンレスピン（注入口）挿入 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し【ポリマーセメントパテ】 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し【ポリマーセメントパテ】 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑪水洗い（15MPa程度） 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） 一般部 0ヶ所 指定部 0ヶ所 ※D-7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 設計数量：①一般部分： 0.0㎡ ②指定部分： 0.0㎡ ③破損部： 0.0㎡															
名 称		E 欠損部処理															
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法		[4. 2. 8]		E-2 打放し面欠損部処理		[4. 2. 3]		E-3 モルタル面欠損部処理							
改修前	改修後																
		①欠損部はつり等での整形 ②水洗い（15MPa程度） ③欠損部はつり部埋戻し【※ポリマーセメントパテ・ポリマー樹脂パテ】 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 検査設計数量： 0.0㎡ 塗り層下設計数量： 0.0㎡															
名 称		F 外壁複合改修工法															
記号・仕様		F 外壁複合改修工法															
改修前	改修後																
		下地補修後 ① プライマー下塗り ② ポリマーペースト中塗り ③ 三軸ネット張り ④ ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ ポリマーペースト中塗り ⑥ アルミ水切り取付け（L-30×15×2.0 ステンレスビス止φ450） ⑦ シーリング打設（MS-2） モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。 設計数量 <table><tr><td>ネット張り</td><td>0.0㎡</td></tr><tr><td>水切</td><td>0.0㎡</td></tr></table>										ネット張り	0.0㎡	水切	0.0㎡		
ネット張り	0.0㎡																
水切	0.0㎡																
工 程																	

外壁改修フロー図

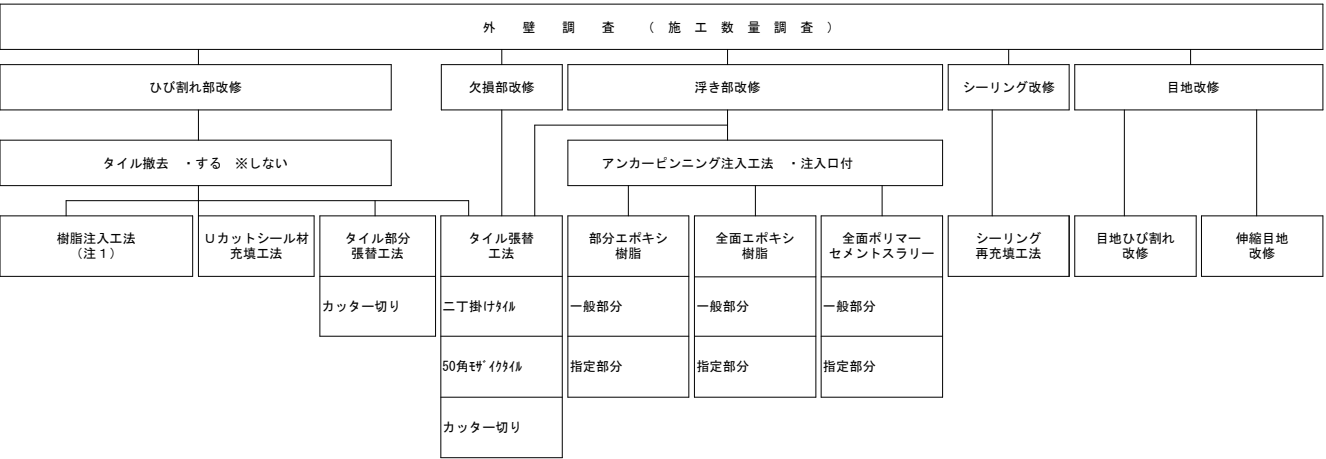
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



・モルタル塗り仕上げ外壁の場合



・タイル張り仕上げ外壁の場合



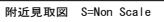
（注1）樹脂注入工法の工法の種類を示す

設計年月：2026年6月

① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は西出入口とする。	工事車
② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。	工事車
③ 施工者が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。	防水改修 塗装改修 外壁改修
④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。 (既設建物を傷めた場合には復旧する。)	
⑤ 近隣の保育所の送迎が集中する時間帯は重機、資材の搬入を避ける。	
⑥ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。	
⑦ 仮設計画を立てる前に、関係者及び監督員と十分協議する。	
⑧ 仮設計画は監督員の承諾を得る。	
⑨ 仮設足場(先行足場、階段共)には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。	
⑩ 職員及び第三者が、工事エリアに入れないように、仮設足場1段目には金網等を設置し、旋錠付きの出入り口を設けること。	
⑪ 昇降所等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。	
⑫ 足場解体後は、現状復旧すること。	
⑬ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。	
⑭ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りすること。	

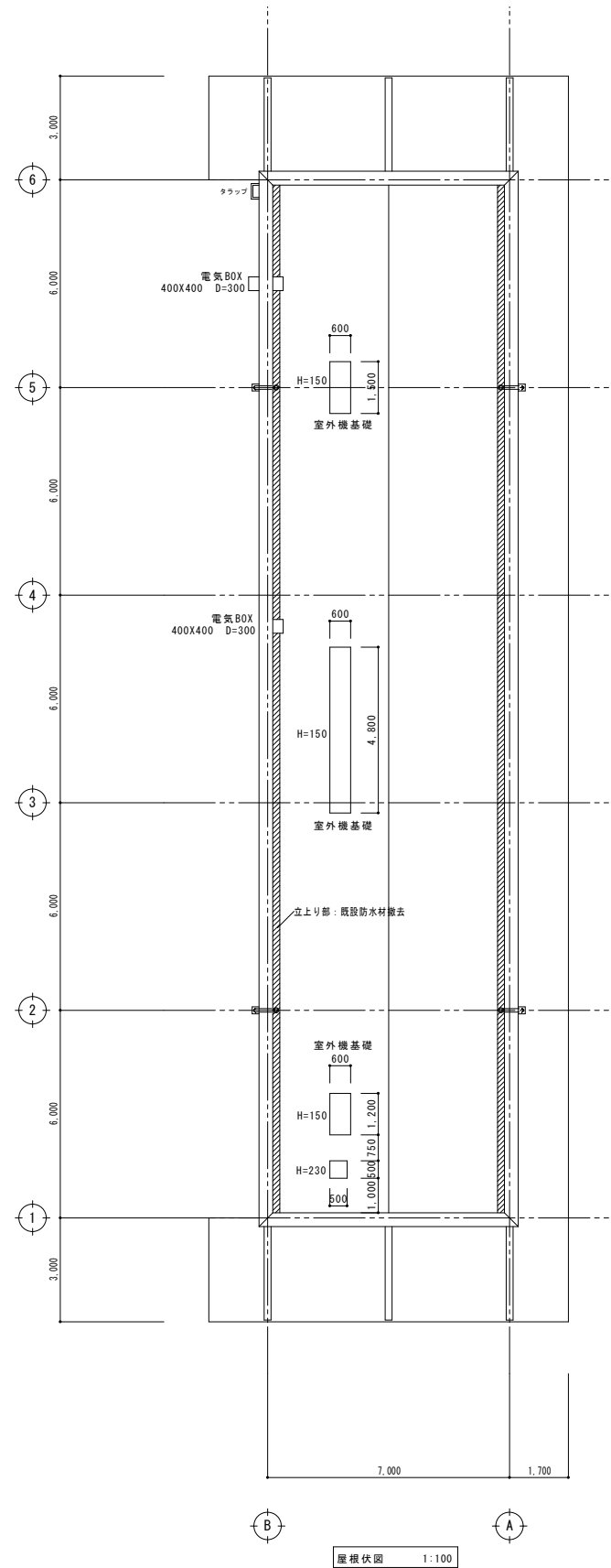
工事概要	
防水改修工	一式
塗装改修工	一式
外壁改修工	一式

※現場事務所等設置場所は、局と協議の上決定する。

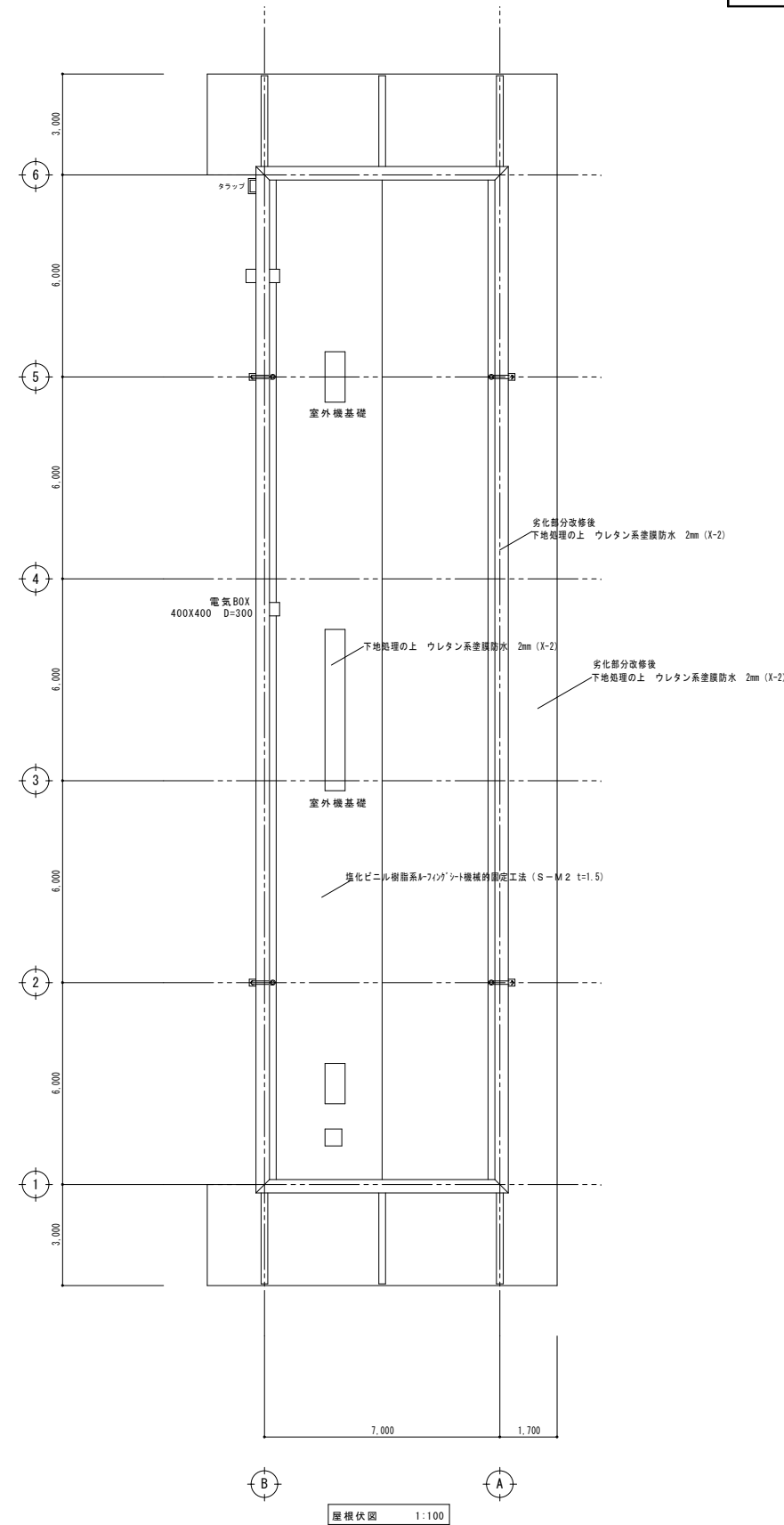


敷地面積								3926.050	
	既設建物 1	既設建物 2	既設建物 3	既設建物 4	既設建物 5	既設建物 6	既設建物 7	合 計	改め合計
用途	庁舎棟	庁舎棟	庁舎棟	機械室棟	倉庫棟	ゴミ置場	自転車置場		
	耐火建築物	耐火建築物	耐火建築物	耐火建築物	その他	その他	その他		
構造・工法	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	C B造	C B造	C B造	鉄骨造		
建築面積	745.750	292.191	269.851	89.760	26.047	4.90	26.18	1,454.679	1,454.67
1 階床面積	727.707	282.836	223.073	88.800	26.047	4.90	26.18	1,379.543	
2 階床面積	709.372	266.614	223.073					1,199.059	
3 階床面積	709.372	268.125						977.497	
PH階床面積	113.055							113.055	
延べ面積	2259.506	817.575	446.146	88.800	26.047	4.90	26.18	3,669.154	3,669.15

改修前



改修後



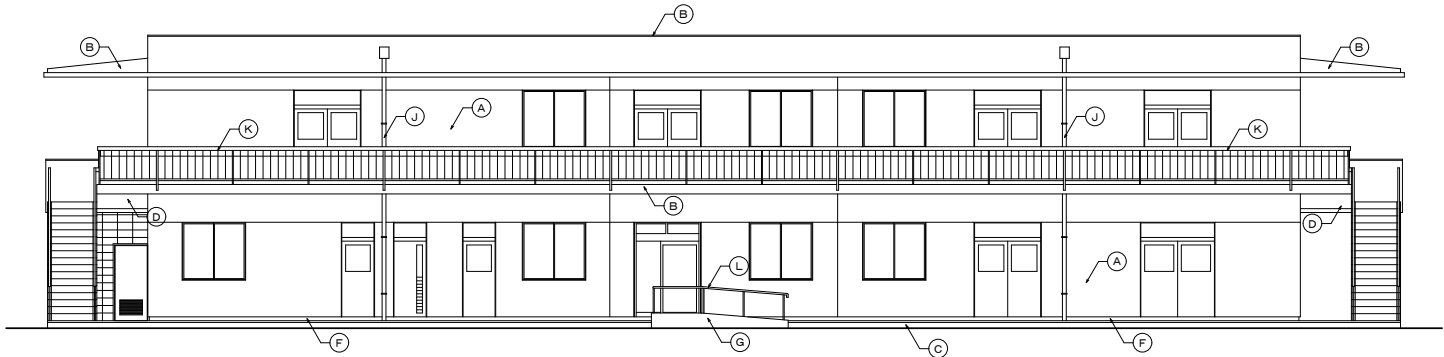
工 事 名	福山市上下水道局西館 外壁外改修工事		
工事場所	福山市古野上町 1 5 番 2 5 号		
図 面	西 館 屋 根 伏 図		
図面番号	8/13	縮 尺	1 : 1 0 0
福山市上下水道局			

設計年月：2026年6月

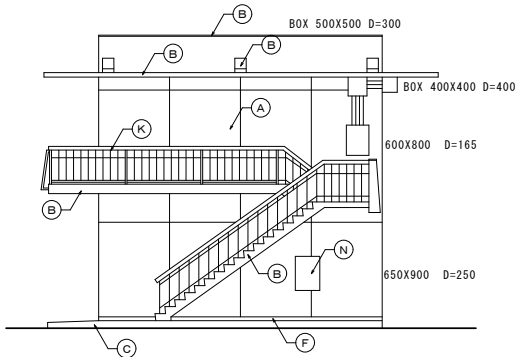
縮尺率	A-1：100%
	A-2：71%
	: 50%

工 事 名	福山市上下水道局西館 外壁外改修工事		
工事場所	福山市古野上町１５番２５号		
図 面	西 館 改 修 立 面 図		
図面番号	9/13	縮 尺	１：１００
福山市上下水道局			

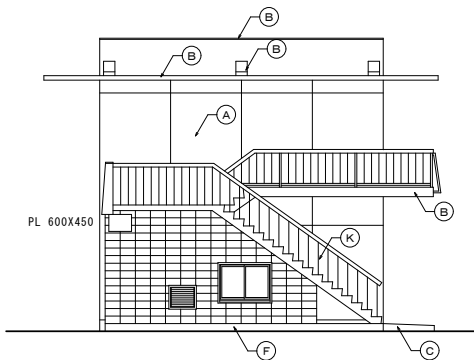
設計年月：2026年6月



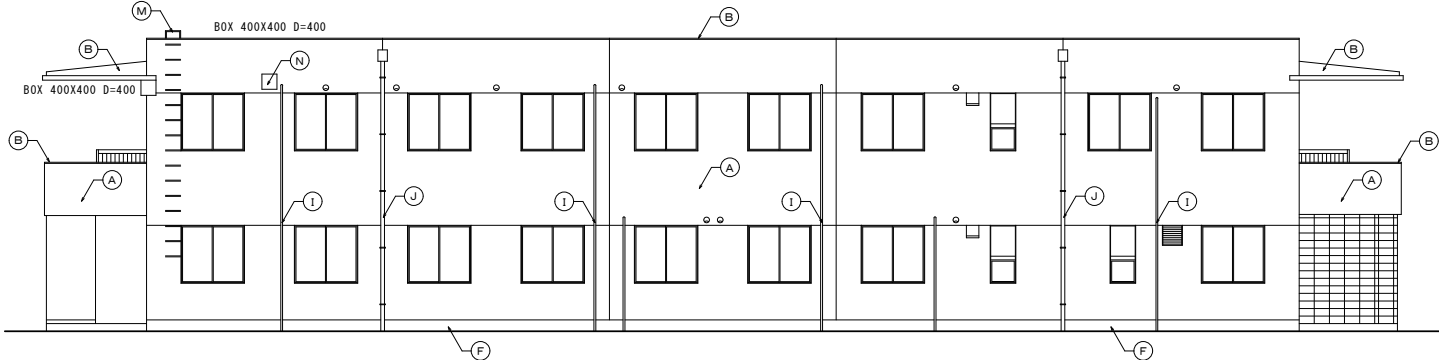
東立面図 1:100



北立面図 1:100



南立面図 1:100



西立面図 1:100

符号	仕 上
(A)	劣化部分改修後 複層塗材 R E 吹付
(B)	劣化部分改修後 ウレタン系塗膜防水 2mm (X-2)
(C)	既設のまま・清掃
(D)	劣化部分改修後 外装薄塗材 E 吹付
(E)	

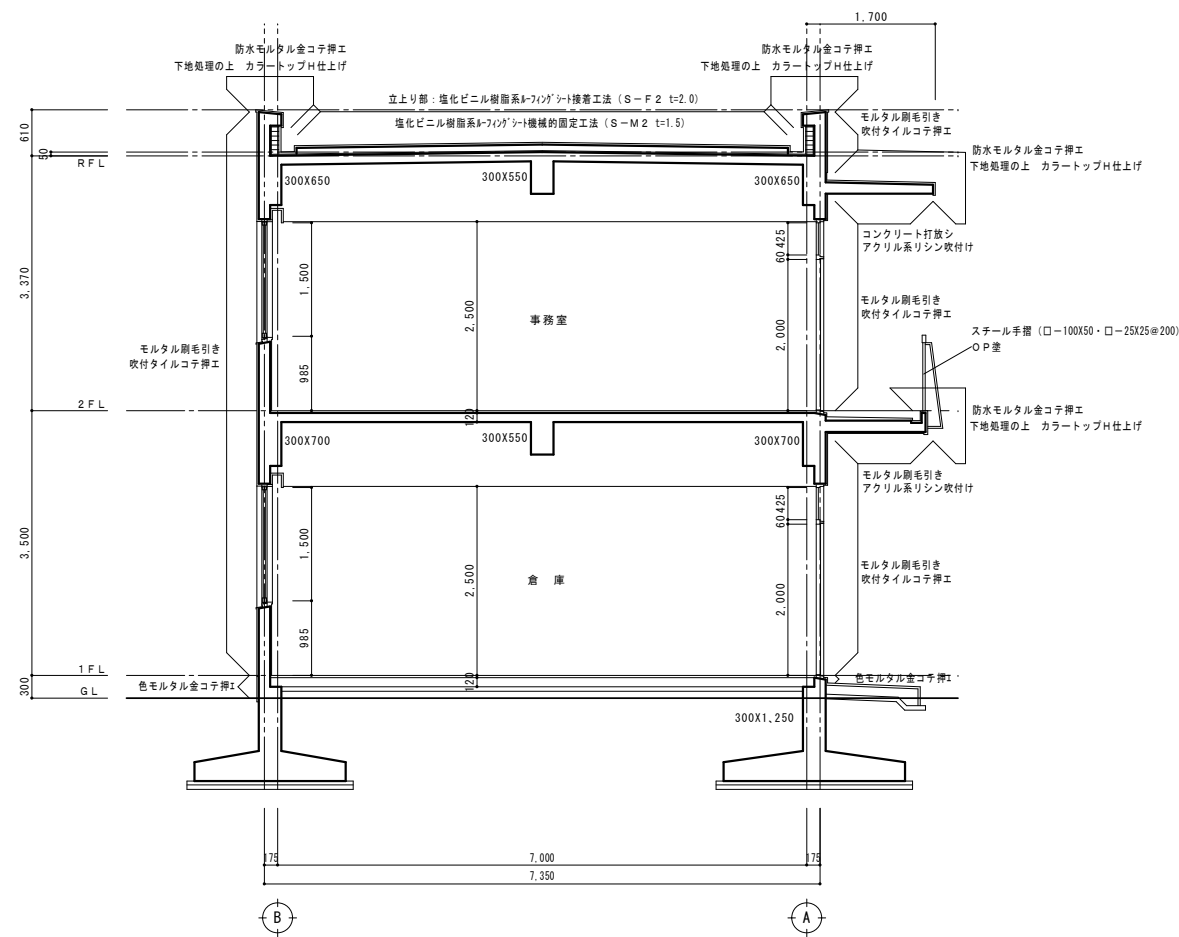
符号	仕 上
(F)	劣化部分改修後 セメント系下地調整材コテ塗り
(G)	コンクリート打放し
(H)	
(I)	設備配管 VP50φ 下地処理 (RB種) の上 SOP塗
(J)	既設堅種撤去の上 VP100φ (カラー) (SUS製金物共)

符号	仕 上
(K)	スチール手摺 (□-100X50・□-25X25φ250) 下地処理 (RB種) の上 SOP塗
(L)	ステンレス手摺
(M)	スチールタラップ 下地処理 (RB種) の上 SOP塗
(N)	設備BOX・設備配管 下地処理 (RB種) の上 SOP塗
(O)	

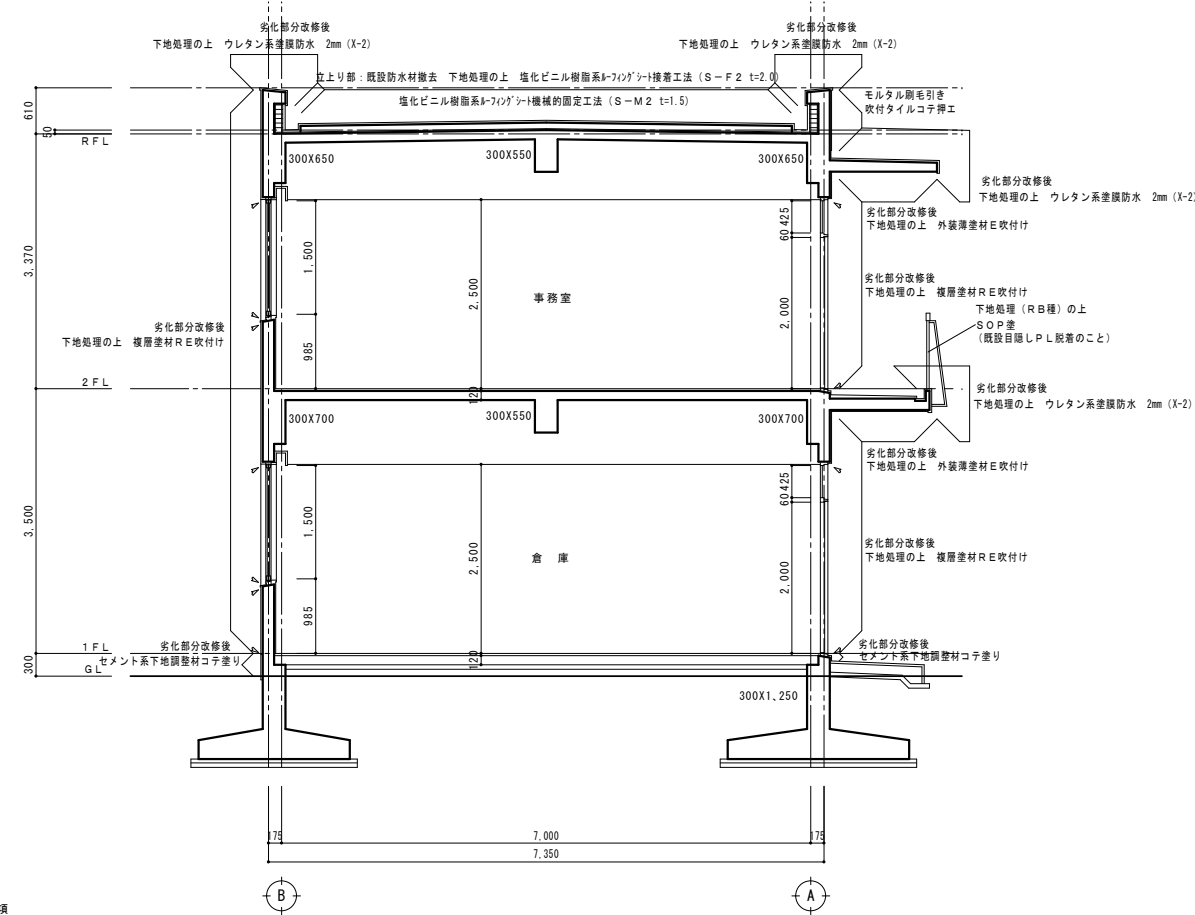
(既設目隠しPL脱着のこと)

縮 尺 率	A-1：100%
	A-2：71%
	A-3：50%

改修前



改修後



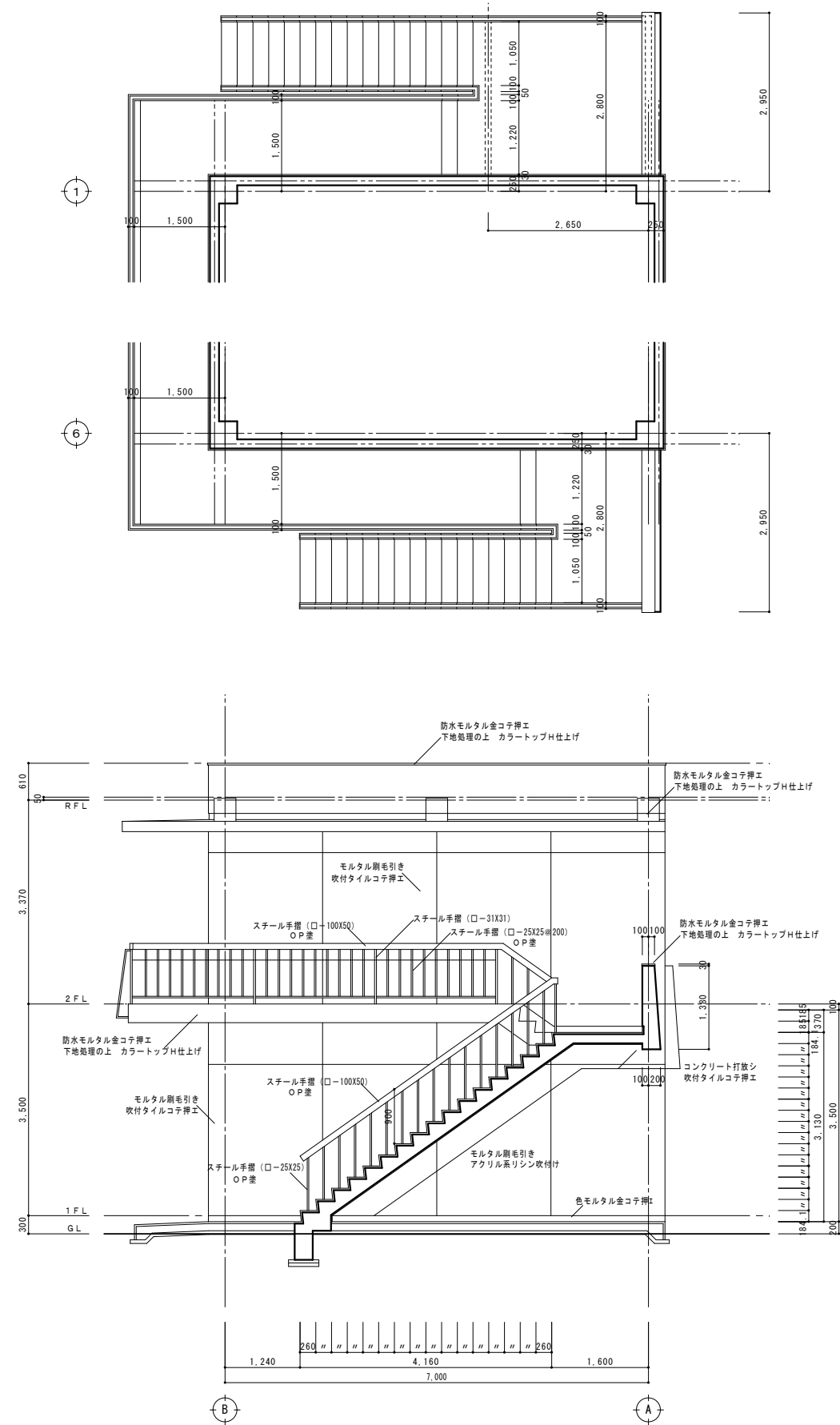
工 事 名	福山市上下水道局西館 外壁外改修工事		
工事場所	福山市古野上町 1 5 番 2 5 号		
図 面	西 館 断 面 詳 細 図		
図面番号	10/13	縮 尺	1 : 5 0
福山市上下水道局			

設計年月：2026年6月

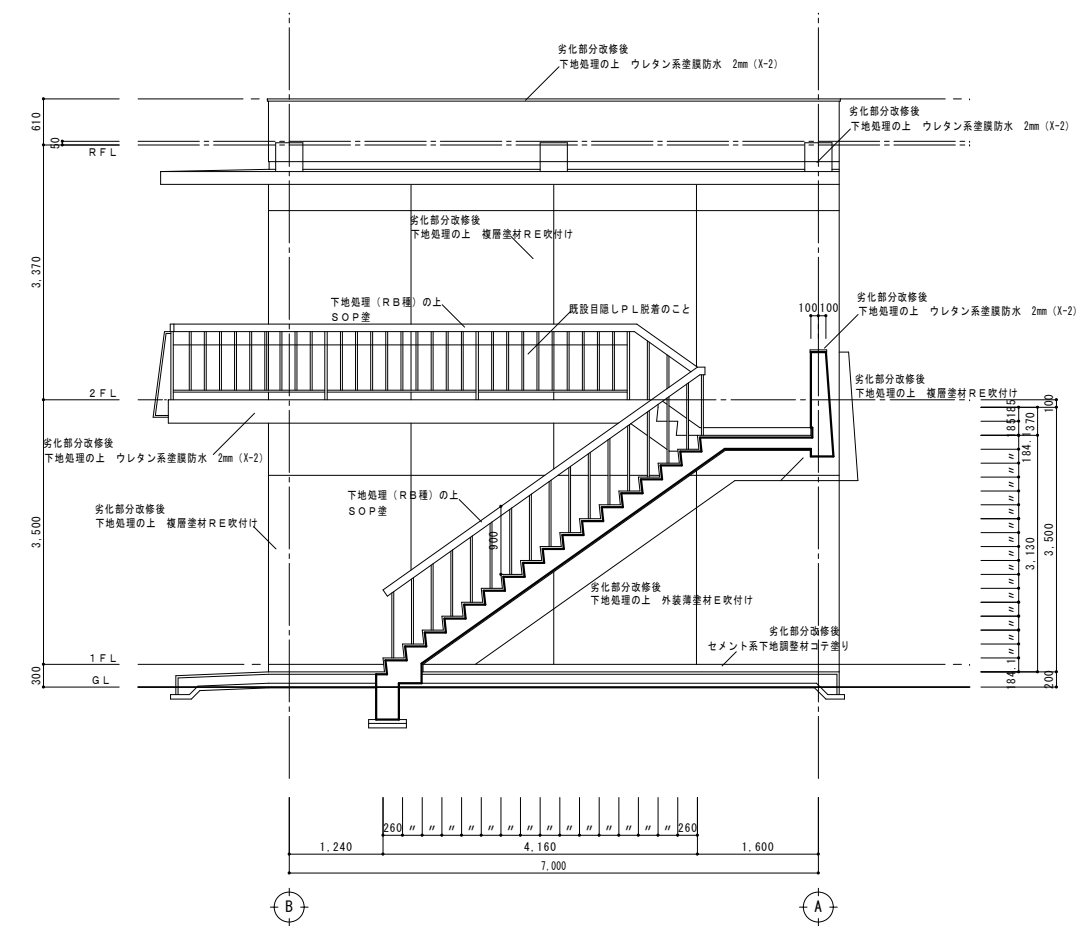
特記事項
・建具廻りシーリング打替え（MS-2、15X10）

縮尺率	A-1：100%
	A-2：71%
	A-3：50%

改修前



改修後



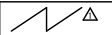
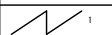
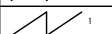
工 事 名	福山市上下水道局西館 外壁外改修工事		
工事場所	福山市古野上町15番25号		
図 面	西館 断面詳細図		
図面番号	11/13	縮 尺	1 : 5 0
福山市上下水道局			

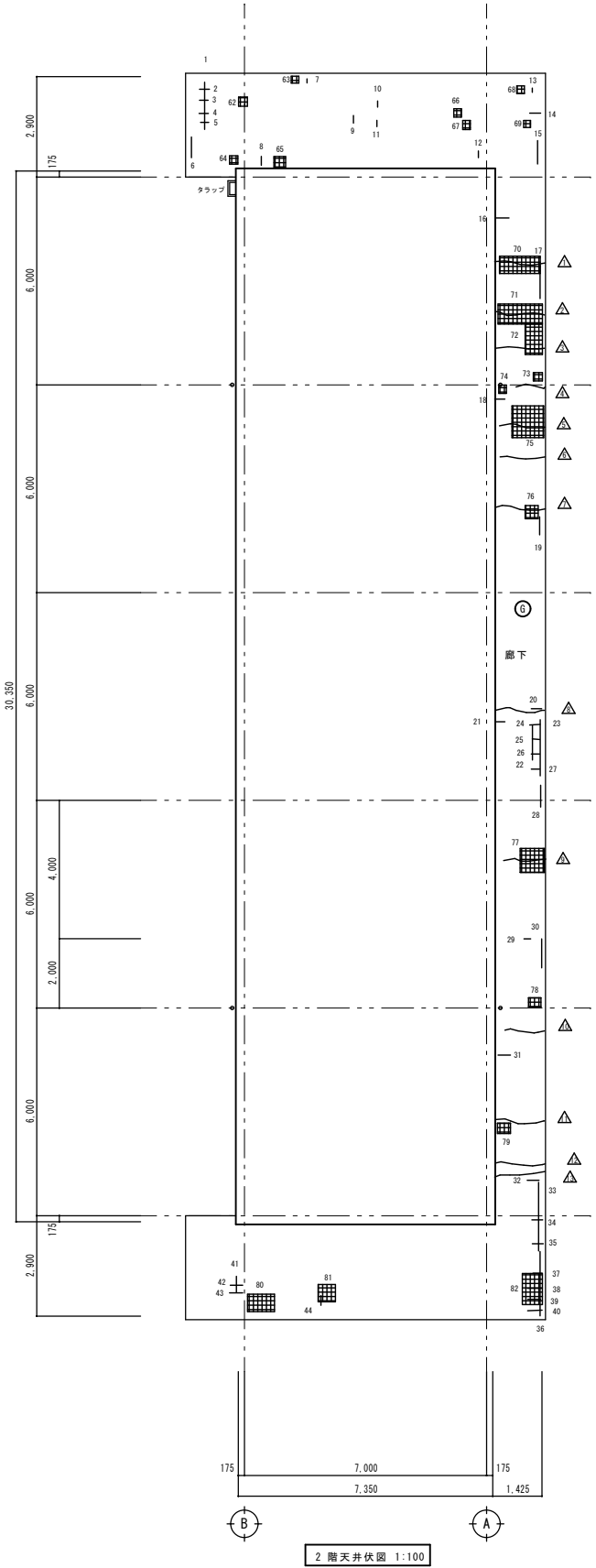
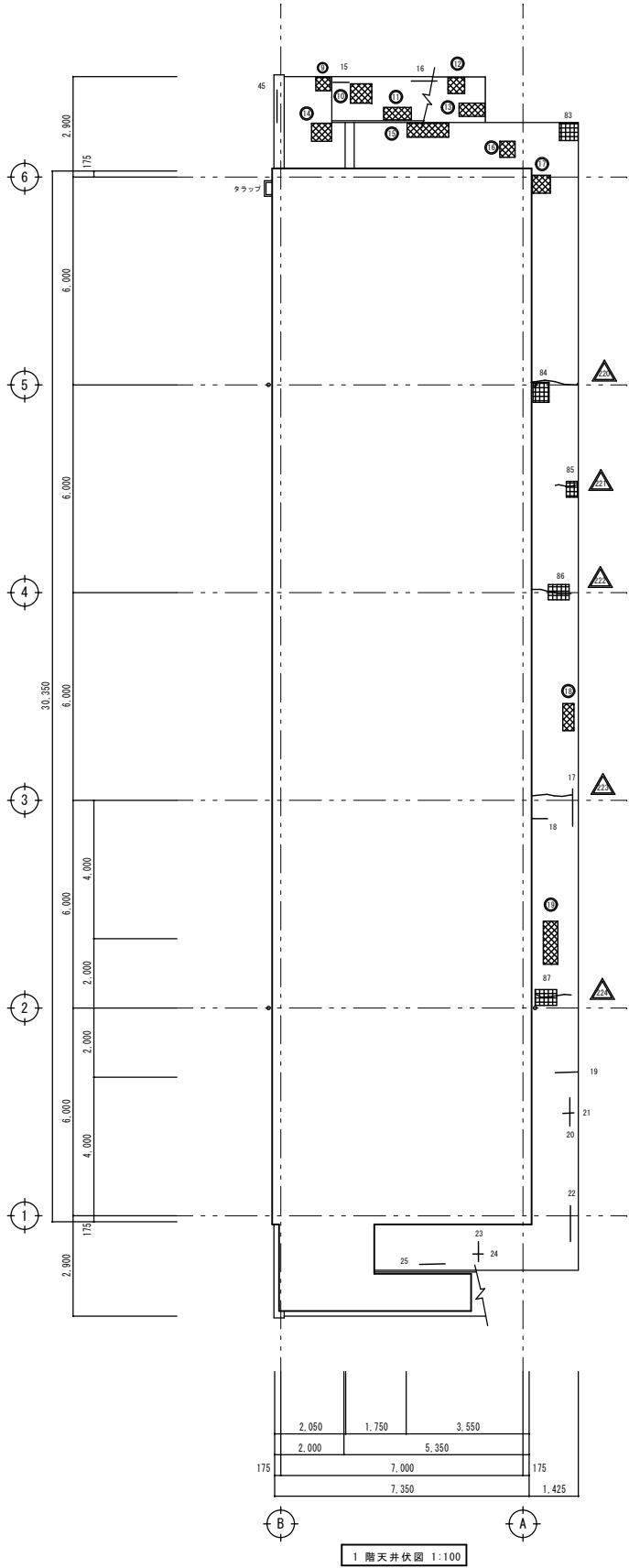
設計年月：2026年6月

縮尺率	A-1：100%
	A-2：71%
	A-3：50%

工 事 名	福山市上下水道局西館 外壁外改修工事		
工事場所	福山市古野上町15番25号		
図 面	西 館 天 井 伏 図		
図面番号	12/13	縮 尺	1 : 1 0 0
福山市上下水道局			

設計年月：2026年6月

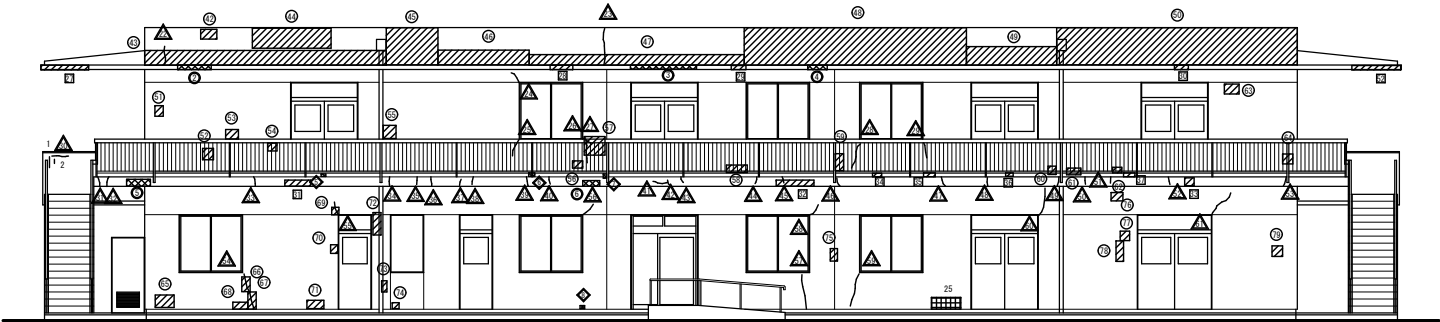
	B-2 ひび割れ（打放し面）
	B-6 ひび割れ（モルタル面）
	C-1 鉄筋（打放し面）
	C-2 鉄筋（モルタル面）
	D-1 モルタル浮き（研り）
	D-2 モルタル浮き（注入）一般部
	D-2 モルタル浮き（注入）狭幅部
	E-3 欠損部（モルタル面）
	表面劣化



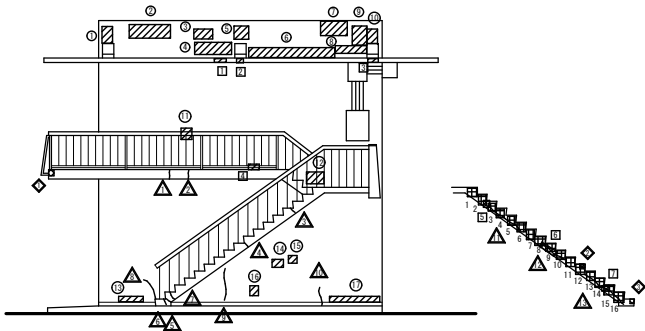
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

工 事 名	福山市上下水道局西館 外壁外改修工事		
工事場所	福山市古野上町15番25号		
図 面	西 館 立 面 図		
図面番号	13/13	縮 尺	1 : 1 0 0
福山市上下水道局			

設計年月：2026年6月

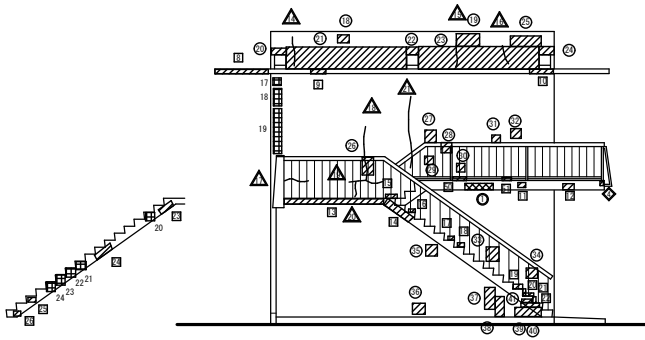


南面図 1:100

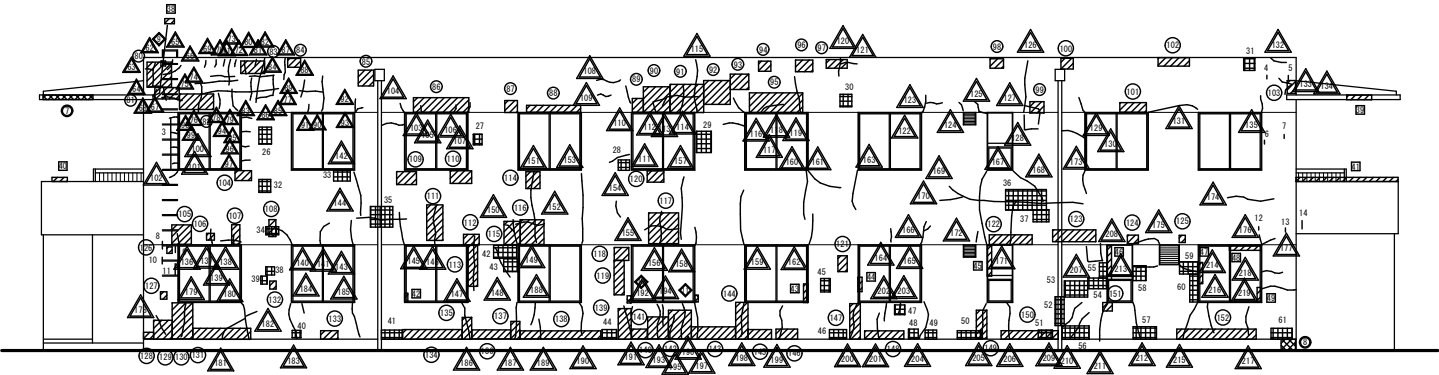


東面図 1:100

	B-2 ひび割れ（打放し面）Uカット
	B-6 ひび割れ（モルタル面）
	C-1 鉄筋（打放し面）
	C-2 鉄筋（モルタル面）
	D-1 モルタル浮き（新り）
	D-2 モルタル浮き（注入）一般部
	D-2 モルタル浮き（注入）狭幅部
	E-3 欠損部（モルタル面）
	表面劣化



西面図 1:100



北面図 1:100

縮尺率	A-1：100%
	A-2：71%
	A-3：50%

参考数量書

§ 工事名称 福山市上下水道局西館外壁外改修工事

§ 工事場所 福山市古野上町 1 5 番 2 5 号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設計書

工事名称 福山市上下水道局西館外壁外改修工事

工事場所 福山市古野上町15番25号

防水改修工 一式
塗装改修工 一式
外壁改修工 一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

[illegible]

外壁改修工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修		1	式		
計					
防水	外部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
建具	ガラス	1	式		
計					
建具塗装	外部	1	式		
計					
外壁塗装	外部	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

福山市上下水道局

[illegible]

[illegible]

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局

福山市上下水道局